

わたしの夢 | <第48回> | 東山小

歴史上の人物に興味津々
一人一人を優しく見守る
保育士になりたい



DREAMS COME TRUE

夢は見るものじゃなく、叶えるもの

小野寺琉香さん

おのでら・るか
東山小6年

わたしは児童会長です。東山小では、毎朝、校舎前のあいさつ通りで「あいさつ運動」を行っています。全校生徒303人が元気にあいさつをしています。好きな科目は社会。さまざまな人物が繰り広げる歴史絵巻が好きです。最近ではスポ少のバドミントンに夢中。上達すると、難しいコースをレシーブで返せるようになってくるところが楽しいです。元プロプレーヤーの潮田玲子さんれいこのような、パートナーを支えるプレースタイルにあこがれます。将来は、子供に寄り添って話を聞く、優しい保育士になりたいです。

編集後記

▼夏に行われた全国大会。なかでも全中バスケの男子決勝戦は、終了30秒前に決勝点となるゴールが決まる劇的な幕切れ。レベルの高さと選手の頑張りを感じました。目指すべき場所は、やはり全国の大舞台です。(伊東吉光)

▼「できない子はいない。頑張れない子はいない」とある塾のキャッチコピー。年を追うごとに、できなかったことができるようになる娘を見るにつけ「できるかも」と思うことの大切さを再認識した。(高橋英義)

▼9月10日から11日にかけての大雨。市内各地で浸水やがけ崩れが発生し、公共施設や農業施設などに大きな被害が出ました。災害には日頃の備えが肝心。我が家でもラジオ、飲料水、非常食、着替えなど非常用物品を再確認しました。(吉住優)

▼藤沢町保呂羽で行われた「古民家マルシェ」。女性ならば、誰もが心ときめく雑貨がずらり。また、古民家独特の雰囲気やあたたかさにとっとり。古民家でのスローライフもいいかもしれません。

(小野寺裕香)

